

# 一部「脱落派」の土地売り渡し 「二坪再共有化」運動を粉碎しよう

全ての組合員の皆さん  
5・22三里塚現地全国集会が目前に迫った。三里塚二期決戦は、とりわけ、本年一月、「一坪再共有化」なる一部脱落派と、政府・公団・権力・革マル一体となつた攻撃との全面対決というすさまじい闘いとなつた。  
全力を尽し切つて大勝利した、四月北原選挙（成田市議選）闘争に息づくひまもなく、勝利の確信も固く、八月パイプライン供用開始をもつて火ぶたを切る二期着工阻止決戦に全力で突入している三里塚農民の決死の闘いに全力で応えよう。  
新たな闘いに突入する三里塚二期決戦すなわち、裏切り者、敵対者を打倒して勝利する、その突破口としてある、5・22現地闘争へ総力をもつて決起しようではないか。

「農民と土地は一身団体」  
——戸村精神で勝利せよ——

三里塚闘争を一八年間も原則的に闘いぬいてきた、反対同盟の人々を直撃したこの攻撃に対し、北原事務局長を先頭とする、反対同盟農民が圧倒的な決意をこめて、総決起した。そして一八年間の、三里塚闘争を根幹において闘いぬいてきた力こそ、敷地内農民を中心とする、ひたすらな、勝利を求めた不屈の闘いである。われわれは、こうした闘いを決してわすれてはならない、それは階級闘争の原点にある、非和解・非妥協の闘いであるからだ。

三里塚農民は、あらゆる困難をのりこえ、原則を貫き、「三里塚闘争の思想は、土地は金で売りにくい」といふ。三里塚闘争の勝利は農民にとつて土地とは一身団体という闘いだ」と言つた故戸村委員長の意志を継承し闘いぬいている。

全国キャンペーンで訴える反対同盟

5・22集会の勝利のために、今、反対同盟農民は、その最先頭に起つて奮闘している。「脱落派との闘いの経過をわれわれ自身が、全国に出向いて明らかにし、農地死守の基本路線を守りぬいてあるわれわれの大義と正義を、われわれ自身の口で全国の人々に訴え、5・22の決起を訴える」と、キッパリと言いきり、この決意のもとに、今、一年中で最も忙しい農繁期をおして、全国キャンペーン隊を編成し、全国各地におもむいている。  
このような決意に支えられてこそ、「反戦・反核・三里塚」を路線とした、中江選挙闘争の圧倒的勝利と、とりわけ、三里塚での北原選挙闘争の

圧勝は、かちとられたのである。二期強行着工にかけた、政府・公団・権力・革マル・日共、「一坪再共有化」を称する脱落派の心がえられるすべでの妨害・敵対をことごとく打ち破つての勝利である。

「二期推進署名」  
「パイプライン供用」攻撃を粉碎せよ

この不動の勝利こそ、敵にとって大きな打撃であるとともに、更に、大きな反動としておそいかかつてきている。それは、五月七日、反動マスコミによつて一斉に報道された、「市民の願い、二期工事の推進と、空港完成を実現しよう」なる、成田青年会議所各の署名運動にあらわれている。しかも、5・22の前日を期限としているところにもまごうことのない、5・22破壊策動である。  
さらに、「八月燃料輸送パイプライン完成供用開始」と共に、いよいよ、二期決戦が切つておとされる。この手段をえらばぬ反動に対して、反対同盟を軸とした全人民的闘いこそ唯一の勝利をかちとる道である。5・22闘争こそその突破口だ。全てをかけて、総力をあげて、5・22へ総決起しよう。

パイプライン供用開始粉碎、収用法弾劾、二期阻止・空港廃港 五・二二全国総決起集会  
主催：三里塚芝山連合空港反対同盟  
日時：五月二二日（日）正午  
会場：三里塚第一公園  
集合：成田運転区 十時、各支部全力、作業衣  
上・下

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！